

芽

四年

画数 8
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ 芽

成り立ち

「ぎば」(食肉動物のするどくとかがった歯)の形を表し、「ぎば」の意味を表した「牙」と、「𦵑」を組み合わせて作った字です。

土から芽を出したばかりの時の芽の形は、「𦵑」の形によく似ています。それで、「草の牙」という意味で、「𦵑」という字を作ったものです。

芽は生まれ出たばかりのすがたを表したものですから「物事の始まり」の意味にも使われます。(例萌芽(芽生え))。

改

四年

画数 7
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆

㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ 改

成り立ち

糸まきから糸をとり出した形を表し、「𦵑」(自分のこと)の意味を表した「己(年876)」と、手にむちをもった形を表し、「改める」意味を表した「攴」とを組み合わせて作った字です。

あやまちをおかした人が、「自己をせめて、あやまちをあらためる」ことを表したものです。「あらためる」こと、「なおす」こと、「変える」ことです。

「己」は、「紀」の本字であり、音はキである。キの音は英語でもそうだが、カイとも発音される。己はキではキだが、kiteではカイと発音する。鬼も「塊」ではカイと発音するし、貴も「潰」ではやはりカイである。)。

使い方

▽春が来て、木の芽がふくと、灰色だった世界が若々しい緑に変わります。わたしは、早春の、緑の新芽が好きです。

▽理科の実験で、トウモロコシの発芽のようすを観察しました。トウモロコシの種から芽が出るようすは、魔法のようで、とても、おもしろいながめでした。

熟語例

- ▽発芽(芽が出ること。)
- ▽萌芽(芽がもえ出すこと。めばえ。また、そこから、ものごとはじまり。きざし。「新しい文化の萌芽」などというふうには、つかいません。)
- ▽新芽(新しく出た芽のこと。)

使い方

▽日ごろの行いを改めて、もっとしっかりした生活をしたいと、いけないよ。

▽家が古くなったので、改築しました。

熟語例

- ▽改築(建物を新しく建てかえること。「図書館の改築工事は、遅々として進まなかった」などというふうには、つかいません。)
- ▽改心(心を改めること。「泥坊は、つかまってからは改心して、まじめに仕事に精を出すようになりました」などというふうには、つかいません。)
- ▽改正(改めて、正しくなおすこと。「交通規則が改正された」などというふうには、つかいません。)
- ▽改革(改めなおすこと。「久しく、政治の改革が叫ばれている」などというふうには、つかいません。)
- ▽朝令暮改(朝に出た命令が、夕方になると改められること。法令がすぐに変わって、あてにならないことをいいます。)